学年だより



令和2年12月3日発行 第10号 大門中学校 第1学年



生徒会テーマ

「共に磨く〜明るい未来を切り開け〜

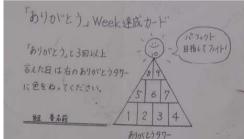
11月24日(火)生徒総会が行われ、後期生徒会がスタートしました。

生徒会の年間のテーマは「共に磨く~明るい未来を切り開け~」となっています。「磨」の漢 字の意味を調べると

- ①「磨(みが)く」:「こすって汚れをとったり、美しくしたりする」
- ②「磨(と)ぐ」:「米などを水の中でこするようにして洗う」
- ③「磨(す)る」:「物に他の物を強く触れ合わせて動かす、こする」

とあります。どの意味にも、「物に他の物を強く触れ合わせる」動作があります。そこで「共 に磨く」とは、「大門中学校の生徒同士がお互いに深く関わり合う中で、心身共に磨い **て向上させる**」ことを表していると思います。その中には、何かしらの人間関係のトラブル もあるかもしれません。完全な鉄球を作る時、まだ凸凹のある鉄のかたまりをまとめて容器に 入れ、ゴロゴロと回転させ、お互いの凸凹を削ることできれいな鉄球が作られるとのことです。 同じように、時にトラブルがあっても、そのことを通じ、お互いの欠点を削り合い、互いの人 格を向上させることも「共に磨く」の一つと言えるでしょう。

11月中、1学年生徒会では、「ありがとうweek」というキャンペーンを行いました。1



日に3回以上、「ありがとう」と言えた日には、ありが とうタワーに色を塗る活動を行い、約70%の達成率 で終了しました。生徒の振り返りエピソードには、

- ただ国語のワークを集めたり、配ったりするだけで「ありが とう」と言われて、すごく「優しいな」と思いました。僕も同じよ うに「ありがとう」と言える人間になりたいです。
- 授業中に友達の分からないところを教えてあげると、相 手が笑顔で「ありがとう」と言ってくれました。

などがあり、充実した活動になったと考えています。

○ この活動中だけでなく、この活動が終わっても続け、あったかい学校にしていきたいと思います。 との思いが現実のものとなるよう、「共**に磨く」活動**を展開したいと思います。

12月・1月の行事

【12月】

7日(月) 生徒会委員会

11日(金) 貧血検査

18日(木)2学期振り返り集会

2 4 日(木) 受賞集会 終業式 給食終了 25日(金)~1月7日(木) 冬季休業

【1月】

8日(金) 始業式 給食開始

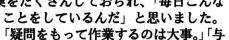
2 1 日(月)~2 3 日(水)午後 保護者会 | 27日(水)、28日(木)中間考査

ものづくり教育事業講演会

11月27日(金) 県内の6業種の講師をお招きし、「ものづくり教育事業講演会」を開催し ました。今、中学校で学ぶことの大切さ働くことの意義を学ぶことができました。

冬休みには、この学習を受け、「身近な人の職業調べ」を課題に、インタビュー活動を行う予 定です。

- 「いろはす」の水源地は、日本に6カ所しかないと聞き、それだけ水にこだわっ ていてすごいと思いました。軟水と硬水を飲み比べました。硬水の方は苦くて、軟 水は味がすっきりしていて、水にも種類があるのだと思いました。(コカ・コーラ)
- 今日の講演で一番心に残った言葉は、「やりがいを見つけた=個人が成長してい る」です。自分が楽しくなかったら、行動に影響したり、やりがいを感じなかった りしてしまうから、「どんな小さなことでも、目標をもつことが大切」だと教えて いただきました。(村田製作所)
- 一番心に残っていることは「今やっている教科は、将来必ず役に立つ」というこ とです。僕は今まで、学校の勉強にはあまり意味がないと思っていました。今日の話を聞いて、「勉 強をしよう! という気合いが入りました。(村田製作所)
- コンピュータは、計算や、繰り返す作業は得意だが、創造(作る)ことは苦手だと分かりまし た。大きなソフトウェアは、チームで作ると知り、集団の力も必要だと思いました。製品をテス トするのに、残業することもあり、とても大変な仕事だと思いました。(インテック)
- うです。働くには、自分がやりたい、楽しいという前向きな 気持ちが大切だと感じました。「今、誰かの役に立っていると 思うと続けられる」ことを教わりました。(ユニゾーン)
- 実験では、細かい作業をたくさんしておられ、「毎日こんな



えれば返ってくる。」という言葉が印象に残りました。興味をもってチャ レンジしたいと思います。(アイザック)

○ 一つの箱ができるまでに60時間も光を当て、色が変わらないかの検 杳をして、もっと製品がよくなるよう努力しておられることを知りまし た。今日、聞いたことを活かして、気になる仕事、挑戦したいことを見 つけていきたいと思いました。(朝日印刷)



「頭がよくなる方法とお口の健康法」

11月25日(水) 真生会デンタルクリニック院長 稲田雅一 先生をお招きし、「歯と口の健康づくり講演会」を開催しました。 「1口30回噛む健康法」を分かりやすく教えてくださいました。 講演後、給食でこの健康法を実践する生徒も見られ、実りあるも のとなりました。

僕は1日5回しか噛んでいないので、1日30回 |噛むのは少し遠く感じました。これを続けるだけ| ↑で、姿勢がよくなったり、頭がよくなったりと利|気をつけて生活したいと思いました。 ♪点が多く、絶対続けようと思いました。

頭と口には何の関係もないと思っていたが、 今日のお話を聞いて、とても深い関係がありび っくりしました。しかも、噛めば噛むほど頭も 発達するのはすごいと思いました。

実験・調査の結果、よく噛んで食べると、テ ストの点数が上がっているのを聞き、しっかり |噛んで食べることはとてもよいことだと思いま|あり、体のゆがみにつながることを知りました。 した。

頭をよくするには、よく噛む食べ物(スル ♪メ、大きめに切った物、皮付き果物)がいい♪ `と言われました。よく噛むことを意識してご | 飯を食べようと思います。

私は鼻呼吸だけど、日常口呼吸をしていると、 危険なことがたくさんあると知って驚きました。

歯の健康は、健康・学力・身長によい影響が あるので、自分の歯を大切にしたいです。この ことを家族にも伝え、家族みんなで歯の健康を 保っていきたいです。

よく噛むと学力が上がり、消化もよくなるこ とが分かりました。噛むことは姿勢にも影響が 元気に過ごせるようにしたいです。